

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建物の構造上完全なバリアフリーではない。危ないと疑いのある場所は人的サポートをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	サービス提供後には必ず清掃、消毒を実施している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	職員全員で支援終了後にミーティングを行い、情報共有と記録を作成し、個別支援計画を基に課題に対する支援を実施、振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	定期的アンケートを実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		必要に応じて第三者の外部評価を取り入れる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部・外部の研修に参加し、共有している	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	保護者と面談を行い、課題やニーズを把握し、支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	保護者との面談やフィードバック等の聞き取りを参考に、子供の支援に必要な項目を適切に選択・設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	児童発達支援計画に沿った支援を考え、行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	職員間でミーティングを行い、活動プログラムを組み、実施している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	児童の様子や保護者のご要望を取り入れて、楽しめる運動を考案している。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名： TAKUMI 武蔵浦和教室

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前には毎日ミーティングを行い、支援の内容や役割分担について確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援開始前には毎日ミーティングを行い、その日行われた支援を振り返り、気付いた点などを共有・記録している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	利用児童ごとにサービス提供記録と日報に支援内容、課題、気付いた事、特記事項を記録し、支援の検証・改善も図っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的にモニタリングをし、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	相談支援事業所と情報共有している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		当事業所には医療的ケアが必要な児童は在籍していない。今後必要があれば連携して支援していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		当事業所には医療的ケアが必要な児童は在籍していない。今後必要があれば連携して支援していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	必要に応じて連携を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	必要に応じて連携を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	様々な専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		交流の場はないため、今後必要に応じて検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	支援終了時に毎回指導員が支援内容や目的、児童の状態等を直接話し、保護者からの意見やニーズも受け止め、共通理解を持てるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	必要に応じて対応している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	契約や更新時に説明している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	希望があれば面談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		現状は保護者同士の連携を支援していない。希望があれば検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	定期的に行事予定などの連絡をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	鍵のかかる保管庫に適切に保管する等、個人情報の取扱いは十分に注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		地域と関わる行事は行うことができていないため、今後検討していく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	訓練を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	非常事態に備えた訓練を行っている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約や更新時に聞き取り、記録を残している。職員間で共有・把握している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	保護者から確認はしているが、現在活動中に食事をすることは無い。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の研修を行っている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0	0	スペースは狭いと思うが少人数なので問題ないと思う。	法令を遵守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動のできるスペースを確保しています。集団クラスで人数が多い時は、サーキットを2つまたは小グループに分けて、運動量が確保できるように工夫もしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	0	2		荷物の置き場所、開けてはいけないドア等のルールを分かりやすく示しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0		毎回の清掃、消毒を徹底しています。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	1	0	1		契約、面談、相談等でニーズや課題の聞き取りと、日々のお子様の変化を記録し、考慮して作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	3		発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者への関わりを目的とした個別療育、集団療育を設定しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	0	3		お子様の支援計画にあったプログラムを作成し、支援しています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	2	0	2		ご利用者様の課題や希望に沿った内容を考え、提供しています。毎回、反省を重ね、より課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考え続けています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	6	6		交流はありませんが、周知活動等で教室のことを知っていただいています。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0		契約時に説明しております。また随時質問や不明点等受け付けています。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	1	0	0		初回利用時もしくはそれ以前に説明しております。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	2	7	1	限られた時間ではあるがペアレントトレーニングを受けてみたい。 未回答1	フィードバックやご相談いただいたときにアドバイスさせていただいております。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6	7	1	0	早めにお迎えに来ててもフィードバックがないことが多い	お子様の安全などその日の状況により十分にフィードバックができなかったことがあったかと思えます。ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。今後はしっかりとフィードバックができるように努めてまいります。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	3	4	1	まだ面談がないのでわからない。 未記入1	個別支援面談は6ヶ月以内に必ず行っております。 武蔵浦和教室の開所が9月ということもあり、次回の面談は2~3月あたりに面談を予定しています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	9	4		・希望する方には個別で情報の連携を案内しております。 ・保護者会は行っていませんが、必要に応じ個別で情報を交換する案内はできますので、ご希望があればお声がけください。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	2	0	3	まだ相談等はしていないが、SNSでやりとりができるので相談はしやすいと思う。	対応の体制が整備されていることは周知しており、随時受け付けています。 相談があった際は速やかに対応させていただきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	1		個々に応じて配慮しております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	3	0	3	SNSで行事連絡があります。	今後も書面や掲示、SNS等でお知らせしてまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1	0	2		個人情報同意書に基づいて管理し、十分な注意を払っております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1	0	5	他の教室では避難訓練行っているが、武蔵浦和教室はわからない。	各クールの状況をみながら年度内に行っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	8		各クールの状況をみながら年度内に行っております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	0	嫌がらず楽しんで通っています。	ありがとうございます。引き続き楽しく通っていただけるように目指してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	2	0	0	始めてから数ヶ月なのでまだどちらともいえない。	皆様に満足していただけるよう引き続き努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名

TAKUMI 武蔵浦和教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建物の構造上完全なバリアフリーではない。危ないと疑いのある場所は人的サポートをしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	職員全員で支援終了後にミーティングを行い、情報共有と記録を作成し、個別支援計画を基に課題に対する支援を実施、振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	定期的にアンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		必要に応じて第三者の外部評価を取り入れる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	外部・内部ともに研修に参加し、共有している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	保護者と面談を行い、課題やニーズを把握し、支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	職員間でミーティングを行い、活動プログラムを組み、実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	児童の様子を見て、児童や保護者の意見を取り入れたり、同じ内容にならないように考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容、流れで実施している。長期休暇期間にはイベントを実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前には毎日ミーティングを行い、支援の内容や役割分担について確認している。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵浦和教室

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援開始前には毎日ミーティングを行い、その日行われた支援を振り返り、気付いた点などを共有・記録している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	利用児童ごとにサービス提供記録と日報に支援内容、課題、気付いた事、特記事項を記録し、支援の検証・改善も図っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的にモニタリングをし、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	ガイドラインの重要性、必要性を伝えており、総則通り行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	あまり参加はできていないが、なるべく参画するよう努めている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	情報共有は行っていないが、学校のホームページや保護者を通して情報収集をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	他事業所の情報は契約時に保護者からいただいている。その他の関係機関とは、今後希望があれば随時検討・対応していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		卒業生がいらないため実績はまだないが、今後必要に応じて検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	広く連携している訳ではないが、利用者の利用している他事業所とは連絡を取り、情報共有する事もある。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		希望に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		今後は前向きに検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	支援終了時に毎回指導員が支援内容や目的、児童の状態等を直接話し、保護者からの意見やニーズも受け止め、共通理解を持てるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	必要に応じて対応している。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵浦和教室

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	面談は定期的実施しており、その他にも利用後のフィードバック時に相談があった場合はその都度回答し、職員間で共有、記録している。 1人の判断で回答できないものはミーティングを経て回答している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		現状は保護者同士の連携を支援していない。希望があれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	定期的に行事予定などの連絡をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	鍵のかかる保管庫に適切に保管する等、個人情報の取扱いは十分に注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		地域と関わる行事は行うことができていないため、今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	訓練を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	非常事態に備えた訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の研修を参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	保護者から確認はしているが、現在活動中に食事をすることは無い。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。	



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2	0	0		法令を遵守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動のできるスペースを確保しています。 集団クラスで人数が多い時は、サーキットを2つまたは小グループに分けて、運動量が確保できるように工夫もしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	3	0	0	足りなさそうで先生方が大変そうです。	ご心配いただきありがとうございます。 人数が少なそうに見えるようですが、法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名から2名以上を配置する体制をとっており、しっかりサポートできる配置を行っておりますのでご安心ください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	7	0	0		荷物の置き場所、開けてはいけないドア等のルールを分かりやすく示しております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	14	1	0	0	アンケートで子どもが困っていることを聞いて下さり、反映されていると思います。	面談の際にニーズや課題を記録し、お子様の様子も含め、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	12	3	0	0		ご利用者様の課題や希望に沿った内容を考え、提供しています。 毎回、反省を重ね、より課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考え続けています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	6	9	0	・特にその必要性は感じていません。 ・まずは先生やお友だちに慣れることが優先なので今は必要ないと思います。 ・個別なので承知しています。	交流はありませんが、周知活動等で教室のことを知っていただいています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0	とても時間を取ってくださり丁寧に説明していただきました。	契約時に説明しております。また随時質問や不明点等受け付けています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	6	1	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	8	1	0	面談時に助言していただき参考になりました。	個別支援面談は6ヶ月以内に必ず行っております。 武蔵浦和教室の開所が9月ということもあり、次回の面談は2~3月あたりに面談を予定しています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	12	0	・特にその必要性は感じていません。 ・横のつながりがあるといいなと思うので参観習慣等があると気軽に他の保護者の方と話す機会ができるんじゃないかと思えます。 ・個別なので承知しています。	・希望する方には個別で情報の連携を案内しております。 ・保護者会は行っていませんが、必要に応じ個別で情報を交換する案内はできますので、ご希望があればお声がけください。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 武蔵浦和教室

	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	4	0	0	未記入1	対応の体制が整備されていることは周知しており、随時受け付けています。 相談があった際は速やかに対応させていただきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	2	0	0	送迎時に伝えたいことは話しています。	個々に応じて配慮しております。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	0	未記入1 SNS等で発信していただいていると思います。	今後も書面や掲示、SNS等でお知らせしてまいります。
	14	個人情報に十分注意しているか	11	4	0	0		個人情報同意書に基づいて管理し、十分な注意を払っております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4	1	0		各クールの状況をみながら年度内に行っております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	7	1	0	未記入1 新設されたばかりですし、今のところはまだしていないようです(子どもが言っていました)。	各クールの状況をみながら年度内に行っております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	0	0	・いつも先生の名前を呼んでいます。 ・いつもありがとうございます。子どもは楽しく通っています。	ありがとうございます。引き続き楽しく通っていただけるように目指してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0	・見学の場も設けていただきありがとうございます。 ・不定期でも通所していいと言っていただけでありがたいと思っています。 ・自由時間の時間が少し長いのでは？と思います。集団活動なので仕方ないと思いますがこの運動を取り入れてほしい！と思ってもなかなか取り入れてもらえません。それなら自由時間の時にその訓練を個別にやってもえらいかと思えます。 自由時間がないと心が整わないお子さんは、もちろんそのような時間あってもいいと思いますし、その子の特性や希望により、変えていただけるとより意味のある時間になると思います。ご検討の程よろしくお願いたします。	貴重なご意見ありがとうございます。自由時間については開所当初から徐々に減らしております。しかし、中には自由時間を楽しみにしているお子様やご意見にあった通り気持ちの切り替えに時間がかかるお子様もいらっしゃいますので、その日の様子を見ながら調整しております。また、様々な目標やニーズに応えるためにそれに繋がる基礎的な運動を取り入れておりますので引き続きご要望に応えられるように努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。